

# ネットワークプレーヤー

---

## 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



**警告**

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、  
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

## NSP-1

# 安全のために

本機は正しく使用すれば事故が起きないように、安全には充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

## 安全のための注意事項を守る

4～5ページの注意事項をよくお読みください。製品全般および設置の注意事項が記されています。

## 定期点検をする

長期間、安全にお使いいただくために、定期点検をすることをおすすめします。点検の内容や費用については、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

## 故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

## 万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したときは
- ファンが停止していたら



- ❶ 電源コードや接続ケーブルを抜く。
- ❷ お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡する。

### 警告表示の意味

オペレーションガイドおよび製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる可能性があります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

### 注意を促す記号



注意



火災



感電

### 行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止

### 行為を指示する記号



指示



プラグをコンセントから抜く

# 目次

⚠ 警告.....	4
⚠ 注意.....	5
特長 .....	6
各部の名称と働き .....	7
前面パネル .....	7
本体後面 .....	8
システム構成例 .....	10
設置について .....	11
設定 .....	11
準備 .....	11
設定ページを開く .....	11
言語を選ぶ .....	12
システム設定を行う .....	12
ユーザー設定を行う .....	13
アカウント設定を行う .....	15
各ページでの設定が終了したら .....	16
本機の状態を見る .....	16
BZNP-D1LE をインストールする.....	17
サンプル素材をダウンロードする.....	17
使用上のご注意 .....	18
HDD 搭載機器に対する注意事項.....	18
その他.....	19
仕様.....	19
世界の時差地図.....	21



下記の注意を守らないと、  
**火災や感電により死亡や大けがに**  
つながることがあります。



指示

### 指定の電源で使用する

付属の AC アダプターでお使いください。  
指定以外の製品でのご使用は、火災の原因となります。



禁止

### 雨のあたる場所や、油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所やこのオペレーションガイドに記されている仕様条件以外の環境に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。



禁止

### AC アダプターの上に布などをかぶせない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



指示

### 電源コードのプラグ及びコネクターは突き当たるまで差し込む

真っ直ぐに突き当たるまでさしこまない  
と、火災や感電の原因となります。



禁止

### 高温下では使用しない

高温の場所で本機を使用すると、火災、発火、発煙の原因となることがあります。  
周囲温度が40℃を超える場所や、直射日光のあたる場所では使用しないでください。



禁止

### 通気孔をふさがない

通気孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

- 風通しをよくするために次の項目をお守りください。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。



禁止

### ファンが止まったままの状態で使用しない

ファンモーターが故障すると、火災の原因となることがあります。

交換は、本機を購入された販売店にご依頼ください。



禁止

### 内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると、火災の原因となります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに DC 電源ケーブルや接続ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



下記の注意を守らないと、  
**けが**をしたり周辺の物品に**損害**を  
与えることがあります。



分解禁止

### 分解や改造をしない

分解や改造をしたりすると、感電の原因  
となる場合があります。



禁止

### 電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の  
原因となる場合があります。

- 設置時に、製品と壁やラック、棚など  
の間に、はさみ込まない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたり  
しない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりし  
ない。
- 熱器具に近付いたり、加熱したりしな  
い。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグ  
をもって抜く。
- 万一、電源コードが傷んだら、お買い  
上げ店またはソニーのサービス窓口  
に交換をご依頼ください。



ぬれ手禁止

### ぬれた手で電源プラグをさわ らない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しする  
と、感電の原因となる場合があります。



プラグをコン  
セントから抜く

### お手入れや運搬をするとき、 または使用しないときは、電 源プラグをコンセントから抜 く

電源を接続したままお手入れや運搬をす  
ると、感電の原因となる場合があります。  
また、不用意な事故を防ぐため、使  
用しないときは電源プラグを抜いてくだ  
さい。

# 特長

ネットワークプレーヤー NSP-1 は、MPEG フォーマットのビデオ/オーディオデータを再生(デコード)し、アナログ信号として出力します。広告、プレゼンテーション、トレーニングなどに最適のデジタルコンテンツプレーヤーです。

本機の主な特長は次のとおりです。

## 高画質

MPEG-2 MP@ML でエンコードされた動画とフルカラーの静止画、そして Web 画面を再生します。DVD プレーヤーに匹敵する高画質を実現しています。

## 動画、静止画、テキストのオーバーレイ表示

プレイリストに従って動画、静止画、テロップなどのテキストを指定した時間に再生し、接続したディスプレイに同時に表示することができます。

## 大容量

容量 40GB のハードディスクドライブを内蔵しています。ビットレート 8Mbps で圧縮されたビデオを約 6 時間 30 分、4Mbps で圧縮されたビデオなら約 13 時間分、保存することができます。<sup>1)</sup>

1) 保存時間数はいずれも動画のみ保存する場合の時間数で、使用条件により上記より短くなることがあります。

## 多様なインターフェースを装備

- アナログビデオ入力：コンポジットビデオの入力が可能です。VTR や DVD からの動画を静止画に重ねることが可能です。
- アナログオーディオ入力：左右 2 チャンネルの入力が可能です。VTR や DVD からの音声信号入力した場合、MIX 出力が可能です。
- アナログビデオ出力：コンポジットビデオの出力が可能です。
- アナログオーディオ出力：左右 2 チャンネルの出力が可能です。
- 10BASE-T/100BASE-TX：ネットワークへの接続が可能です。
- GPI：本機に接続したディスプレイや外部機器をコントロールすることができます。

## 画面の向きを選択可能

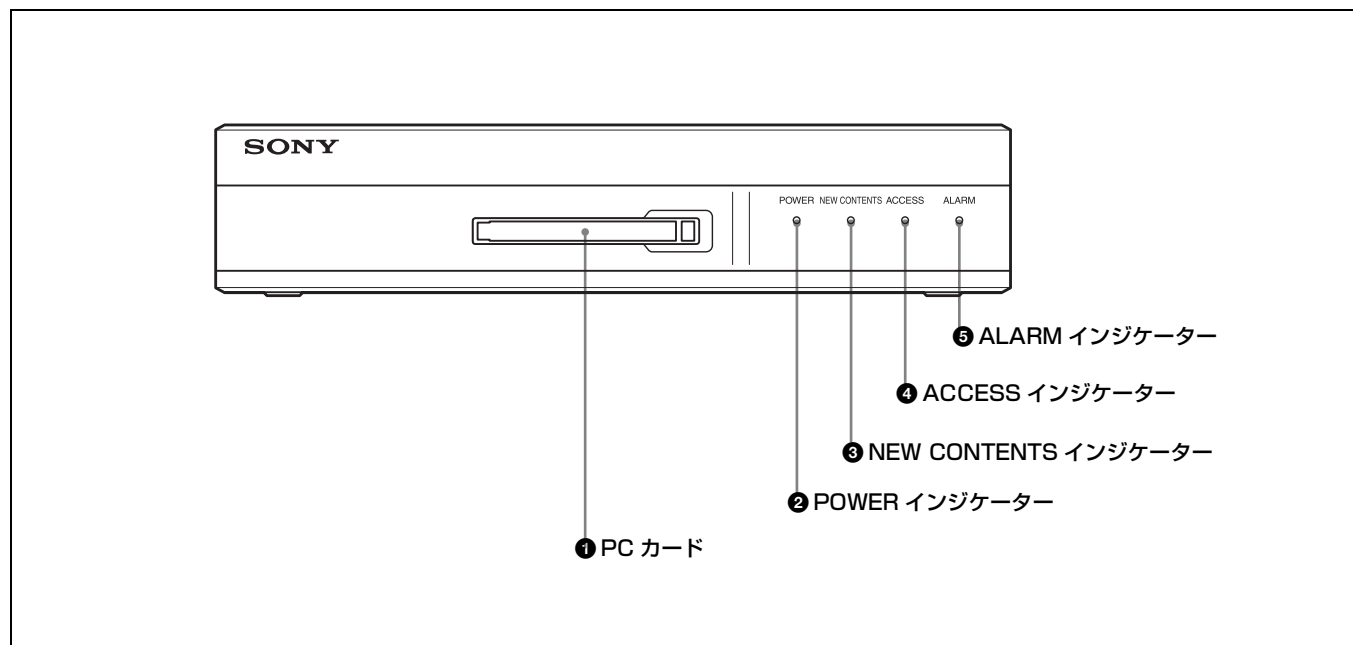
静止画を回転させることができるので、縦向き専用の静止画を作る必要がありません。

## 小型、軽量

サイズは 210 × 44 × 167 mm(幅/高さ/奥行き)、重量は約 1.5 kg と、大容量のハードディスクドライブ内蔵にもかかわらず、小型の設計になっています。

# 各部の名称と働き

## 前面パネル



### ① PC カード

サポートしているカードのみご使用ください。  
サポートしているカードについての詳細は、お買い上げ店、  
またはお近くのソニーサービス窓口にお問い合わせください。

### ご注意

出荷時はダミーカードが挿入されています。PC カードをご  
使用になるときは、はずしたダミーカードは捨てずに保管  
しておいてください。また、PC カードを挿入していない場  
合は、ダミーカードを付けたままにしておいてください。は  
ずしたままですと、本体内部の通気が正常に行われません。

### ② POWER(電源) インジケータ

本機に電源が供給されているとき点灯します。

### ③ NEW CONTENTS(新着データ) インジケータ

点灯、消灯により、新着データに関する情報を示します。

点灯：新着データ受信完了。

消灯：新着データが1つ以上再生または削除された。

### ④ ACCESS(アクセス) インジケータ

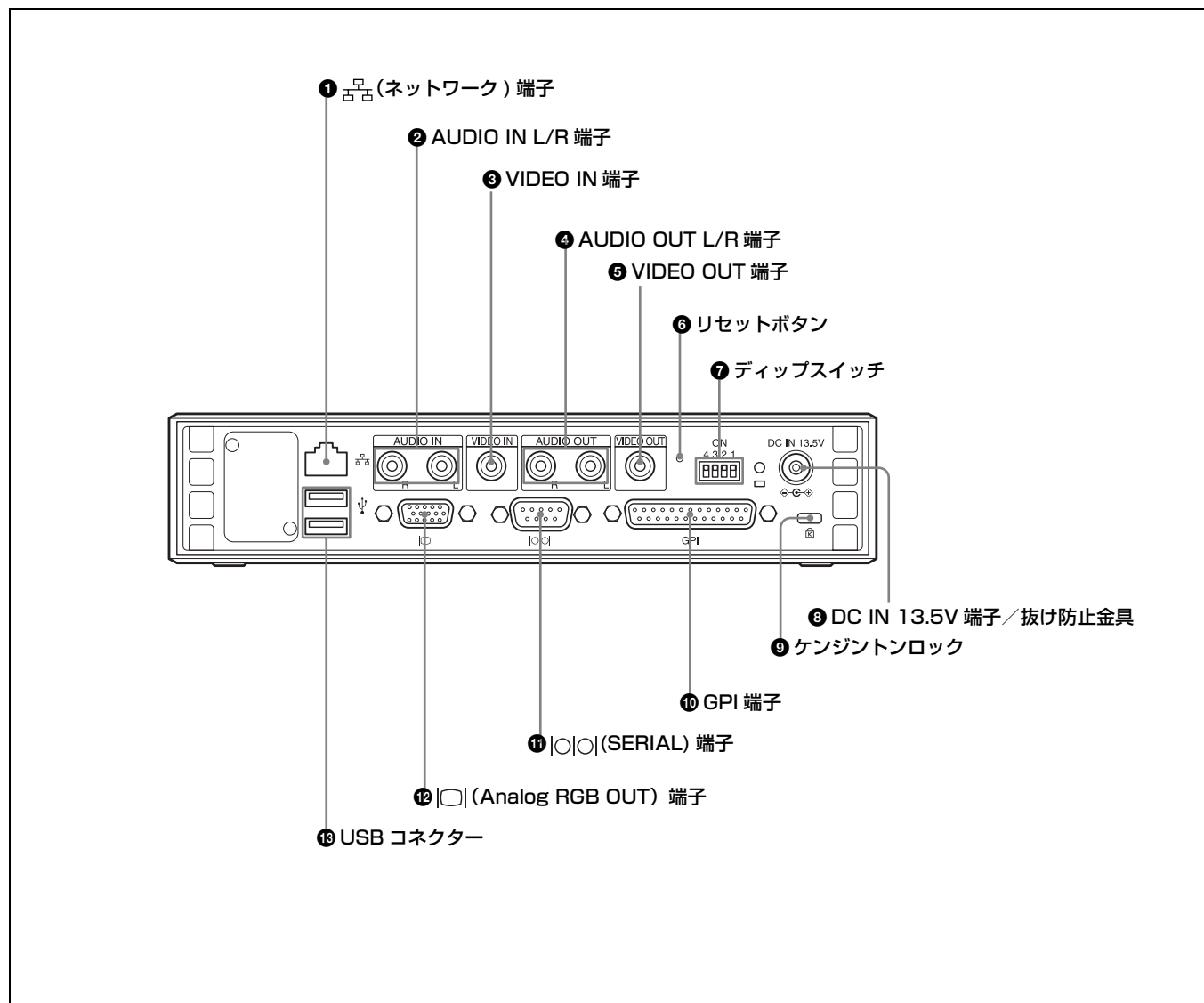
データ読み取り / 書き込みのため、内蔵 HDD(ハードディ  
スクドライブ)へのアクセスが行われているとき点滅しま  
す。

### ⑤ ALARM(アラーム) インジケータ

システムエラーが発生したとき点滅します。

何らかの障害が発生しています。お買い上げ店、またはお  
近くのソニーサービス窓口にご相談願います。

## 本体後面



### ① ㊦ (ネットワーク) 端子 (RJ-45 型モジュージャック)

ネットワーク (Ethernet) 接続用の 100BASE-TX/10BASE-T コネクターです。

#### で注意

安全のために、周辺機器を接続する際は、過大電圧を持つ可能性があるコネクターをこの端子に接続しないでください。

接続については本書の指示に従ってください。

### ② AUDIO IN L/R (オーディオ信号入力チャンネルL/R) 端子 (ピンジャック)

アナログオーディオ信号を入力します。

### ③ VIDEO IN (ビデオ信号入力) 端子 (ピンジャック)

アナログのコンポジットビデオ信号を入力します。

### ④ AUDIO OUT L/R (オーディオ信号出力チャンネルL/R) 端子 (ピンジャック)

再生オーディオをアナログ信号で出力します。ステレオの場合はL端子から左チャンネルの音声、R端子から右チャンネルの音声が出力されます。

### ⑤ VIDEO OUT (ビデオ信号出力) 端子 (ピンジャック)

再生ビデオをアナログコンポジット信号で出力します。

### ⑥ リセットボタン

本機がハングアップしたときなど、強制的に再起動するときに使用します。大き目のクリップを伸ばしたものや、シャープペンシルの先などを差し込み強く押します。

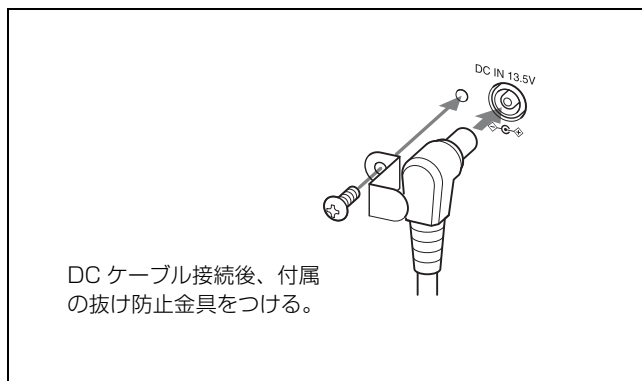


### ⑦ ディップスイッチ

サービス用途で使用します。すべて OFF にしておいてください。

### ⑧ DC IN 13.5V(DC 電源入力) 端子／抜け防止金具

AC アダプター (付属) の DC ケーブルを接続します。接続後、DC ケーブルが誤って抜けるのを防ぐために、付属の抜け防止金具を取り付けることをお勧めいたします。



### ⑨ ケンジントンロック

盗難防止用のワイヤーを取り付けます。

### ⑩ GPI (汎用インターフェース) 端子 (D-sub25 ピン、凹)

パラレルインターフェース端子です。詳細については、お買い上げ店、またはお近くのソニーサービス窓口にお問い合わせください。

### ⑪ $\square \square$ (SERIAL) (汎用インターフェース) 端子 (D-sub9 ピン、凸)

プラズマディスプレイ、ビデオモニターなどの D-sub9 ピン端子と接続して、電源のオン／オフなどをコントロールします。

### ⑫ $\square$ (Analog RGB OUT) (汎用インターフェース) 端子 (HD D-sub15 ピン、凹)

プラズマディスプレイ、ビデオモニター、液晶ディスプレイの VGA 端子と接続します。

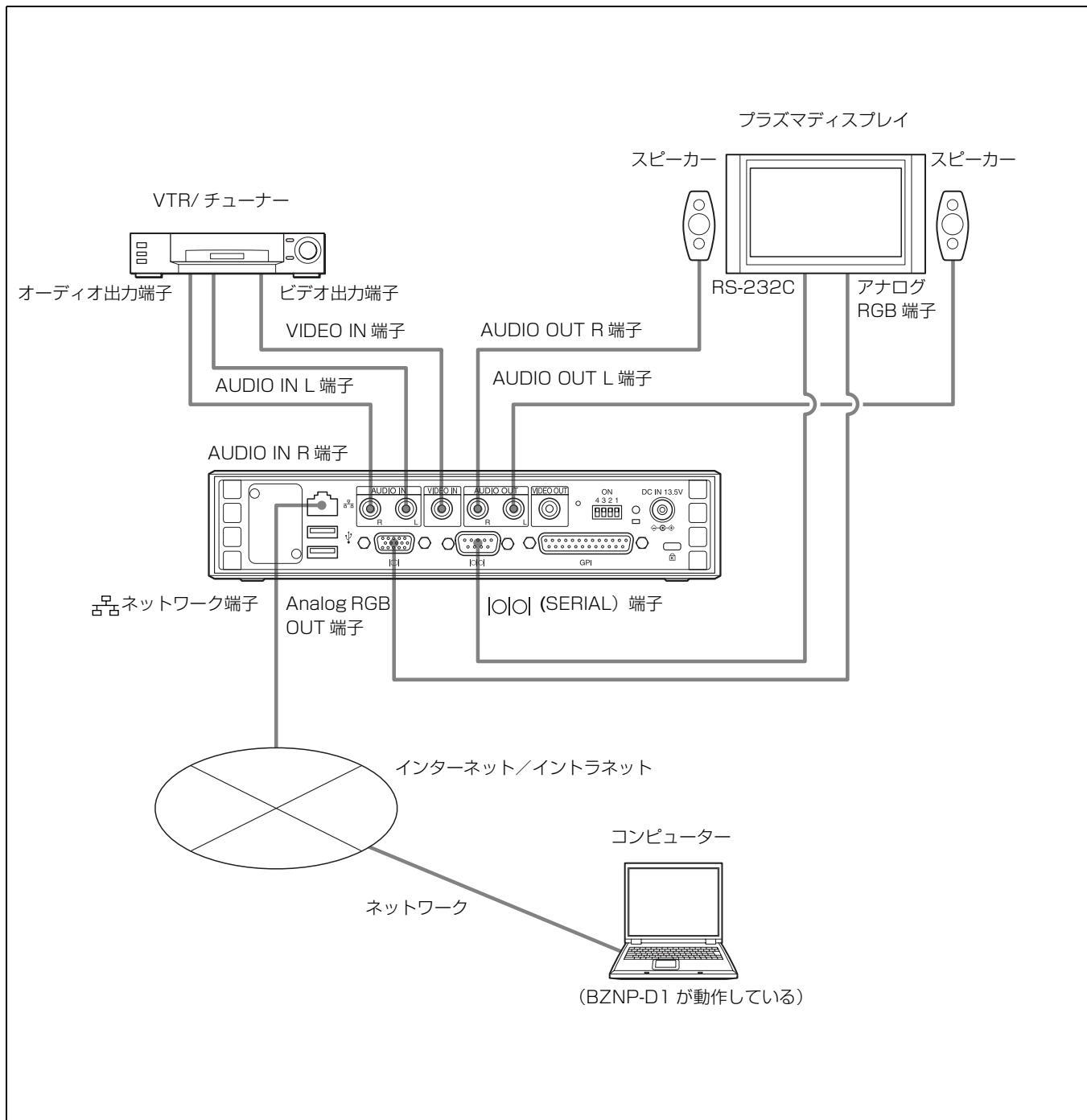
### ⑬ USB コネクター

サポートしている機器のみご使用ください。

◆ サポートしている機器についての詳細は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

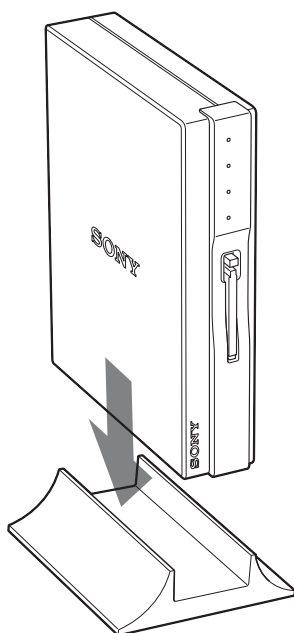
# システム構成例

下図はシステムの構成例を示しています。



## 設置について

本機は横置き、縦置きのどちらでも使用できます。  
縦置きの場合は、付属のスタンドをご使用し、下図で示している方向に設置してください。間違った方向で設置すると正しく動作しない場合があります。



## 設定

ここでは、本機を運用するための各種設定について説明します。

本機の設定には、以下のページを使用します。

- システム設定 (12 ページ参照)  
システム日時の設定、ネットワーク、ディスプレイなどシステムに関する一般的な設定などを行います。
- ユーザー設定 (13 ページ参照)  
ユーザー設定ページで、再生ログの作成に関する設定、および本機のハードディスクの運用休止に関する設定などを行います。
- アカウント設定 (15 ページ参照)  
ユーザー名とパスワードを設定します。

初めてご使用になる場合は、以下に説明する項目の手順に従って設定してください。

設定を変更したい場合は、該当する項目で説明されている手順に従って変更してください。

### 高度な設定画面について

システム管理者の方が設定する必要はありません。サービス用の画面です。本ページは、NSP-1 本体のサービス用途や特殊な設定で使用します。通常の運用では使用しません。

## 準備

各種設定は、Web ブラウザから設定ページ画面にアクセスして行います。

Web ブラウザから設定ページ画面にアクセスするには、付属のオペレーションガイドの「マニュアルをダウンロードする」までの操作を行っておく必要があります。

- ◆ 詳しくは、オペレーションガイドをご覧ください。

## 設定ページを開く

- 1 コンピューターの電源を入れる。
- 2 本機に電源を入れる。
- 3 Web ブラウザを起動する。
- 4 URL を入力する。

以下の工場出荷時のアドレスを入力します。

`http://192.168.0.1:4980`

- 5 ENTER キーを押す。

認証のためのダイアログボックスが表示されます。

6 以下の工場出荷時のユーザー名とパスワードを入力する。

ユーザー名：NSP1admin  
パスワード：NSP1admin

#### ご注意

安全のため、パスワードを変更してください。

◆ パスワード変更について詳しくは、「アカウント設定を行う」(15 ページ)をご覧ください。

7 [OK] ボタンをクリックする。  
ステータスページが開きます。

## 言語を選ぶ

各設定ページで使用する言語を選択できます。  
日本語表示にするには：[日本語] ボタンを押します。  
英語表示にするには：[English] ボタンを押します。

## システム設定を行う

システム設定ページで、システム日時の設定、ネットワーク、ディスプレイなどシステムに関する一般的な設定などを行います。また、システムの情報を確認できます。

### システム設定ページを開くには

[システム設定] ボタンをクリックします。  
システム設定ページが開きます。

### システム日時の設定／変更を行うには

1 「日時設定変更」欄で、日付（年／月／日）、および時刻（時／分）を入力する。

2 タイムゾーンを入力する。

本機を使用している場所と UTC（協定世界時）からの時差を入力します。

◆ 時差の設定については、「世界の時差地図」(21 ページ)を参照してください。

3 [送信] ボタンをクリックする。  
本機に時刻情報が送信されます。

#### ご注意

年月日・時刻は、送信だけで設定、変更できますが、タイムゾーンも変更した場合は、必ず次の操作を行ってください。

ただし、引き続き設定を行う場合は、次の操作は必要ありません。設定または変更操作を続けてください。すべてのページでの設定が完了した時点で、そのページの [再起動] ボタンをクリックしてください。

4 [再起動] ボタンをクリックする。

本機がパワーオン・リセットされます。  
手順 2 で設定したタイムゾーンに切り換ります。

#### ご注意

NTP サーバーを使用するに設定した場合 (13 ページ)、ここで設定した時間は、多少の時間をおいて、NTP サーバーからの時間に修正されます。

## システム設定を行うには

1 本 NSP-1 の名称を入力する。

ここで決めた名前は、ログなどに使用されます。複数台管理する場合などに便利です。

2 ネットワークアドレスを設定する。

#### 無線 LAN を使用する場合

[使用する] を選択します。

必要に応じて、ESSID と WEP キーを入力します。

ESSID は半角英数記号で入力してください。

ESSID と WEP キーについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

#### ご注意

無線 LAN 使用時は、裏面ネットワーク端子に、ネットワークケーブルを接続しないでください。

#### 無線 LAN を使用しない場合

[使用しない] を選択します。

#### DHCP サーバーを使用する場合

[使用する] を選択します。

IP アドレスと、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイアドレスを自動的に取得します。

[再起動] ボタンが押されて本機がパワー・リセットされた後、自動的に取得されてアドレスが表示されます。

### DHCP サーバーを使用しない場合

[使用しない] を選択します。  
DHCP サーバーを使用しない場合、以下を入力します。  
**IP アドレス**：本機の IP アドレスを入力します。  
**サブネットマスク**：本機を使用するネットワークのサブネットマスクを入力します。  
**デフォルトゲートウェイ**：デフォルトゲートウェイの IP アドレスを入力します。

## 3 DNS サーバーに関する設定を行う。

### DNS サーバーを使用しない場合

[使用しない] を選択します。

### DNS サーバーを使用する場合

[使用する] を選択します。  
接続するネットワーク（インターネット、イントラネット）に設定された DNS サーバーの IP アドレスを入力します。  
アドレスについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

## 4 プロキシサーバーに関する設定を行う。

### プロキシサーバーを使用する場合

[使用する] を選択します。  
アドレスとポート番号を入力します。  
プロキシを使わないでアクセスしたいアドレスを、（カンマ）で区切ってプロキシを使用しないアドレスの欄に記述してください。  
アドレスとポート番号については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

### プロキシサーバーを使用しない場合

[使用しない] を選択します。

## 5 NTP サーバーに関する設定を行う。

ネットワークを介して本機の時計を合わせるかどうかを選択します。

### NTP サーバーを使用しない場合

[使用しない] を選択します。

### NTP サーバーを使用する場合

[使用する] を選択します。  
使用する NTP サーバーの IP アドレスを入力します。

#### ご注意

有効にした場合、システムの日時は、NTP サーバーから送られてくる時刻の情報に基づき設定されます。

## 6 ディスプレイに関する設定を行う。

以下の設定ができます。

**解像度**：表示するサイズを設定します。

**設置方向**：プラズマディスプレイの設置の向きとして横置き、縦置き（左回転）、縦置き（右回転）のいずれかを選択します。

#### ご注意

- 縦置きの場合、解像度、及び、レイアウトに制限があります。
- 本機後面の VIDEO OUT 端子は、解像度を [Composite] に、向きを [横向き] に設定した場合のみ有効となります。これ以外の設定では、正常に表示されません。
- 解像度を [Composite] に設定した場合は、本機後面の [ ] (Analog RGB OUT) 端子に接続されたプラズマディスプレイ、ビデオモニター、液晶ディスプレイで画像は正常に表示されません。

## 7 ビデオ入出力信号のフォーマットを選択する。

NTSC、PAL のいずれかを選択します。  
国内で使用する場合は、NTSC を選択します。

## 8 [送信] ボタンをクリックする。

ネットワークの設定が本機に送信されます。  
ひき続き他の設定を行う場合は、次の手順9の操作を行わず、次の設定を行ってください。

## 9 [再起動] ボタンをクリックする。

本機がパワー・リセットされます。  
設定変更が有効となります。

### 本機に関する情報を確認するには

本ページで、本機のソフトウェアバージョン、ハードウェアバージョンを確認できます。

## ユーザー設定を行う

ユーザー設定ページで、再生ログの作成に関する設定、および本機のハードディスクの運用休止に関する設定などを行います。

### ユーザー設定ページを開くには

[ユーザー設定] ボタンをクリックします。

## ユーザー設定を行うには

### 1 再生結果欄で、再生結果の保存に関する設定を行う。

本機の再生結果を保存しておくかどうかを選択します。  
**再生結果を保存する場合**：[保存する]を選択します。  
**再生結果を保存しない場合**：[保存しない]を選択します。

#### 再生結果の保存日数を指定するには

保存期間の欄に入力します。

### 2 運用休止欄で本機の運用休止開始時刻を設定する。

本機内蔵ハードディスクの性能を保持するため、1日に1回ハードディスクを約5分間休止する必要があります。  
開始時刻欄に希望の開始時刻（時/分）を設定します。

#### ご注意

本装置では、システムの安定運用のため、1日1回装置のメンテナンス処理とパワーリセットを自動的に実行します。この間スケジュール再生や、素材転送は不可能となりますので、なるべく影響のない時間帯を設定することをおすすめいたします。出荷時は、00:00に設定されていますので、必要に応じて変更してください。

### 3 コンテンツ自動削除欄で、素材の自動削除機能を設定する。

素材の登録時に自動削除時間を設定することで、素材を自動削除することができます。

**素材の自動削除機能を有効にする場合**：[削除する]を選択します。

**素材の自動削除機能を無効にする場合**：[削除しない]を選択します。

### 4 シリアル通信欄で、シリアル通信を設定する。PDPなど外部機器を制御するための、シリアル通信に関する設定を行います。

本機後面の|O|O|（SERIAL）端子の使用目的を選択します。本機に搭載されているスケジュールソフトウェアで外部機器をコントロールする場合は、[NSP-1からの外部機器の制御]を選択します。通常はこれに設定して使用します。

本機のRS-232C制御機能を使用して、外部機器から制御を行う場合は、[ホスト機器からのNSP-1の制御]を選択します。

**通信スピード**：スピードドロップダウンリストから通信スピードを選択します。

**パリティ**：パリティドロップダウンリストから通信パリティを設定します。

**タイムアウト**：タイムアウトドロップダウン欄に、機器からの返信タイムアウトを入力します。

### 5 組み込みのスクリーンセーバー欄でスクリーンセーバー機能を設定する。

**組み込みのスクリーンセーバーを使用する場合**：[使用する]を選択します。

**組み込みのスクリーンセーバーを使用しない場合**：[使用しない]を選択します。

この設定はデフォルトのスクリーンセーバーにのみ働きます。

### 6 ウェブページの表示欄で、ウェブ画面を表示する際の設定を行う。

フォントおよびフォントサイズで、文字を表示する際のフォントを指定します。

接続エラー画面で、HTTP接続に失敗した場合に、標準エラー画面を表示するか特定の静止画を表示するかを選択します。

**標準のエラー画面を表示する場合**：[指定しない]を選択します。

**特定の静止画を表示する場合**：[指定する]を選択します。静止画のインデックス欄に、表示する静止画のインデックス番号を指定します。

キャッシュ使用で、表示したページを本機内部に保存するかを選択します。HTTP接続に失敗した場合に、過去に保存した同ページを表示します。

ただし、保存した内容は起動および再起動時に消去されます。

**キャッシュを使用する場合**：[使用する]を選択します。

**キャッシュを使用しない場合**：[使用しない]を選択します。

#### ご注意

キャッシュ使用を[使用する]場合は、接続エラー画面の[指定しない]を選択してください。

接続エラー画面の[指定する]を設定している場合、キャッシュ使用を[使用する]の設定は、無効になります。

### 7 ビデオコントラスト欄で動画（外部入力も含む）のコントラストを設定する。

### 8 オーディオレベル欄で、各素材ごとのオーディオレベルを設定する。

本設定欄の PCM は、オーディオファイルと Flash ファイルを示しています。

オーディオ出力欄で、同時に再生する複数の素材に音声があったとき、音声出力をどうするかを選択します。  
**すべてミックス出力する場合**：[全てミックスする] を選択します。

**Audio、Flash の音声を動画の音声に優先して出力する場合**：[PCM を優先する] を選択します。

**9** 素材がないときの代替表示欄で、復旧モードの選択を行う。

スケジュール再生中に、スケジュールに登録されている素材がなかった場合など、送出エラーが発生したときの動作を指定します。

**表示を行わない場合**：[何も表示しない] を選択します。

**直前に再生した素材を表示する場合**：[直前の素材] を選択します。

**インデックスに登録した素材を表示する場合**：[指定した素材] を選択します。

指定した素材] を選択した場合は、各素材ごとのインデックスの欄に表示する素材のインデックス番号を指定します。

**10** [送信] ボタンをクリックする。

本ページでの設定が本機に送信されます。  
ひき続き他の設定を行う場合は、次の手順 11 の操作を行わず、次の設定を行ってください。

**11** [再起動] ボタンをクリックする。

本機がパワーリセットされます。  
設定変更が有効となります。

## アカウント設定を行う

NSP-1 の Web ページにアクセスするには、ユーザー名とパスワードの入力が必要です。アカウント設定ページでパスワードが変更できます。

ユーザーによりアクセスできるページが異なります。

### で注意

初期設定のパスワードは、必ず変更してください。  
パスワードの入力文字数は、6 文字以上、14 文字までの半角英数記号です。但し、以下の記号は利用できません。  
\*[.,\,%/,,\$,",&,'

## 管理者用パスワードを設定・変更するには

本機の設定が可能なユーザーです。

- 1** 管理者アカウントのパスワードテキストボックスに新しいパスワードを入力する。
- 2** 入力確認テキストボックスに再度新しいパスワードを入力する。
- 3** [送信] ボタンをクリックする。  
管理者用パスワードが変更されます。

## 一般アカウント用パスワードを設定・変更するには

素材とスケジュールの登録削除などを行うアプリケーションソフトウェア側が本機にアクセスするためのパスワードです。

ステータスページを開くこともできます。

- 1** 一般アカウントのパスワードテキストボックスに新しいパスワードを入力する。
- 2** 入力確認テキストボックスに再度新しいパスワードを入力する。
- 3** [送信] ボタンをクリックする。  
一般アカウント用パスワードが変更されます。

## ステータス閲覧用パスワードを設定・変更するには

ステータスページのみアクセスできるユーザー用です。

- 1** ステータス閲覧用アカウントのパスワードテキストボックスに新しいパスワードを入力する。
- 2** 入力確認テキストボックスに再度新しいパスワードを入力する。
- 3** [送信] ボタンをクリックする。  
ステータス閲覧用パスワードが変更されます。

## root アカウント用パスワードを設定・変更するには

メンテナンスや本機を使ってソフトの開発などを行うときに使用するパスワードを設定します。  
ネットワークを公衆回線に接続するなど、セキュリティ上不安がある場合に変更することをお勧めします。

- 1** root アカウントのパスワードテキストボックスに新しいパスワードを入力する。

2 入力確認テキストボックスに再度新しいパスワードを入力する。

3 [送信] ボタンをクリックする。

root アカウント用パスワードが変更されます。

---

## 各ページでの設定が終了したら

最後のページで、[再起動] ボタンをクリックします。

本機がパワーリセットされます。

各ページで行った設定が有効となります。

### ご注意

アカウント設定が最後のページの場合は、他のページに移動して、[再起動] ボタンをクリックしてください。

---

## 本機の状態を見る

ステータスページで、以下の状態を見ることができます。

**NSP-1 について**：機種名、シリアル番号、ハードディスクの容量など。

**現在の NSP-1 システムの状態**：内部温度、ファン、ハードディスクについて異常があった場合は、エラー番号が表示されます。

**カレンダー**：ひと月のカレンダーを表示します。

年月を変更した後、[更新] ボタンを押すと、カレンダーの表示がその月の表示となります。



# BZNP-D1LE をインストールする

本機の管理ソフトウェア BZNP-D1LE が、本機のハードディスクに保存されています。BZNP-D1LE をコンピューターにインストールし、素材のデータを管理したり、プレイリストの作成、再生スケジュールの作成などができます。以下の手順で、コンピューターにインストールします。

## ご注意

バージョンアップする場合は、BZNP-D1 を含むすべてのアプリケーションを終了してから実行してください。旧バージョンの製品版をご使用の方もこのファイルでバージョンアップできます。また、旧バージョンでの設定や登録ライセンスはバージョンアップ後も引き継がれます。

- 1 [ダウンロード] ボタンをクリックする。  
ダウンロードページが表示されます。
- 2 BZNP-D1LE の [ダウンロード] をクリックする。  
[実行 (R)] か [保存 (S)] かを聞いてきます。
- 3 [実行 (R)] ボタンをクリックする。  
セキュリティの警告で「発行元：不明な発行者」と表示される場合がありますが、ウイルスチェック済みですので、[実行する (R)] ボタンをクリックしてください。インストールが開始されます。
- 4 指示に従って、内容を確認の上、[次へ (N) >] ボタンをクリックしていき、インストールする。

# サンプル素材をダウンロードする

本機で再生可能なサンプル素材が、本機のハードディスクに保存されています。サンプル素材をダウンロードし、この素材を元に、BZNP-D1 で再生プログラムを組むことができます。

- 1 [ダウンロード] ボタンをクリックする。  
ダウンロードページが表示されます。
- 2 サンプル素材の [ダウンロード] をクリックする。  
保存先を聞いてきます。
- 3 保存先を指定し、[OK] ボタンをクリックする。  
ダウンロードが開始されます。

# 使用上のご注意

保存温度：-20 ~ +55 °C

保存湿度：20 ~ 90%（結露のないこと）

## HDD 搭載機器に対する注意事項

本機には、ハードディスクドライブ（以下 HDD と称する）が搭載されています。HDD は精密部品であり、衝撃・振動・静電気・温度・湿度が原因で故障したり、HDD 内のデータが破損するおそれがあります。本機を設置・使用するときは、以下の注意事項をよくお読みのうえ、慎重に取り扱ってください。

### 衝撃・振動を与えない

衝撃・振動が加わると HDD が故障あるいは HDD 内のデータが破損されるおそれがあります。

- 本機を輸送する場合は、指定の梱包材料で梱包してください。台車などで搬送する場合は、振動の少ない台車を使用してください。過度な衝撃・振動が加わると HDD が故障するおそれがあります。
- 通電中は本機を移動しないでください。本機をラックから出し入れするときも、必ず電源をオフにした状態で行ってください。
- ラック内にあるすべての HDD 搭載機器に衝撃を与えないでください。
- 本機をラックから出し入れするとき、ラック内に通電中の HDD 搭載機器がある場合は、必ずその機器の電源をオフにしてください。
- 本機の外装を取り外さないでください。
- 本機を床などに置くときは、本機の底に必ず指定のゴム脚がついている状態で、静かに降ろしてください。脚が付いていない場合は、脚を取り付けてから置いてください。
- 振動を発生する機器の近くには置かないでください。

### 電源オフ後 30 秒間は作業しない

電源をオフした後もしばらくの間は、HDD 内のディスクは慣性で回転しており、ヘッドは不安定な状態にあります。この期間は、通電中以上に衝撃・振動に弱い状態です。電源オフ後、最低 30 秒間は軽い衝撃も与えないようご注意ください。30 秒以上経過すれば、（ディスクが静止するので）作業を開始できます。

### 温度・湿度に関するご注意

適正範囲内の温度・湿度のある場所で、保管・使用してください。

動作温度：5 ~ 40 °C

動作湿度：20 ~ 80%（結露のないこと）

## HDD に不良症状が現れた場合

万一、本機の HDD が故障した（不良症状が現れた）と思われる場合でも、本機の取り扱いは、上記と同様に行ってください。不良内容の確認や不良解析を行うまでの損傷の拡大を防ぎます。

## HDD の交換

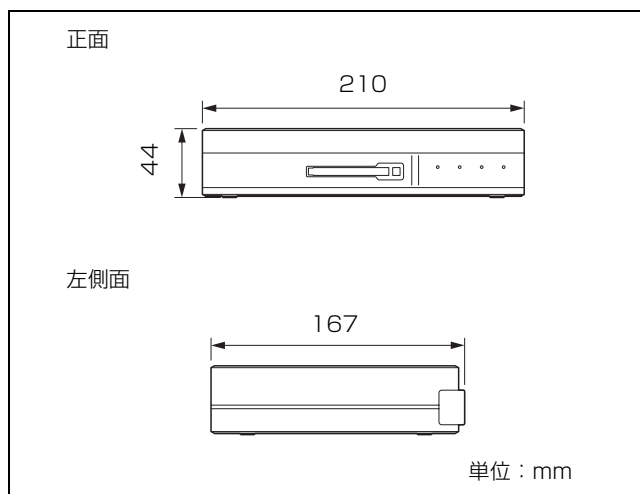
HDD は消耗品です。常温でのご使用の場合、2 年または 10,000 時間を目安に交換してください。ただし、この時間はあくまでも交換の目安であり、部品の寿命を保証するものではありません。動作保障範囲内の温度であっても、使用環境温度が高くなるほど寿命が短くなります。交換の際はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

# その他

## 仕様

### 一般

電源	DC13.5V、AC アダプターから供給
消費電力	45 W
動作温度	5℃～40℃
動作湿度	20%～80% (ただし結露がないこと)
保存温度	-20℃～+55℃
保存湿度	20%～90% (ただし結露がないこと)
質量	約 1.5 kg
外形寸法	210 × 44 × 167 mm (幅 / 高さ / 奥行き) 突起部含まず
ハードディスク容量	40 GB



### ファイルフォーマット<sup>1)</sup>

ビデオ	MPEG-2MP@ML PS、MPEG-4 ASP@L5
グラフィック	Bitmap, JPEG, Macromedia FLASH, HTML
オーディオ	WAV, MP3
映像信号	NTSC/PAL

1) ファイルによっては再生できないものがあります。

## 入・出力端子

### 映像入・出力

Analog RGB OUT	HD D サブ 15 ピン (凹) (1) VGA(640 × 480)、SVGA(800 × 600)、XGA(1024 × 768)、WVGA(848 × 480) 切替え
----------------	--

VIDEO IN	ピンジャック (1)、コンポジット信号、1Vp-p、入力インピーダンス 75 Ω、不平衡、同期負
VIDEO OUT	ピンジャック (1)、コンポジット信号、1Vp-p、負荷インピーダンス 75 Ω、不平衡、同期負

### 音声入・出力

AUDIO IN	ピンジャック (2)、入力インピーダンス 6.8 kΩ 以上、不平衡
AUDIO OUT	ピンジャック (2)、負荷インピーダンス 10 kΩ 以上、不平衡

### ネットワーク

100BASE-TX/10BASE-T	RJ-45 型 (1)
---------------------	-------------

## その他

PC Card スロット (1)	PCMCIA Type II
SERIAL	D サブ 9 ピン (凸) (1)
GPI	D サブ 25 ピン (凹) (1)
USB	USB 1.1 (2)

## 付属品

- AC アダプター (1)
- AC ケーブル (1)
- スタンド (1)
- 抜け防止金具 (1)
- ネジ (1)
- オペレーションガイド (1)
- 保証冊子 (1)
- 取扱説明書、BZNP-D1 ネットワークプレーヤーマネージメントソフトウェアはハードディスクに収録されています。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

- 必ず事前に記録テストを行い、正常に記録されていることを確認してください。本機や記録メディア、外部ストレージなどを使用中、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。
- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

#### 商標について

Macromedia および Flash は、Macromedia, Inc の米国およびその他の国／地域における商標または登録商標です。

## 世界の時差地図

システム設定ページで、システム日時の設定で、タイムゾーンを入力する際の参考にしてください。



お問い合わせは  
「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>